

# 医療法人 八誠会

## もりそう教育だより

令和6年12月発行 (No.15)

発行/もりやま総合心療病院

看護部

TEL052-791-2133



### 今年はどうな年でしたか？

今年ももう残り僅かですが、皆さんにとってどんな年だったでしょうか。今年の夏は暑かった。そして、急に寒くなった。物価が高くなった。そんなことが思い浮かびます。コロナが5類になってから1年以上がたって、マスクを外しての外出をしている人も増えて、少しずつ元の生活を取り戻しつつあるような気がします。

当院の研修も少しずつ以前のような活気を取り戻して、今年は院外の講師を招く機会がたくさんありました。前回は、ピネル社の研修をご紹介したと思いますが、その他にもハラスメント防止、虐待防止、医療安全で「睡眠」の研修、感染対策で「手洗いとマスクの着用」など。それぞれに専門の先生方をお招きして、様々な知識を学ぶことができました。この秋は、研修ラッシュで、うれしい悲鳴という感じでした。また、院外の研修にスタッフを送り出すこともできて、その伝達講習会も開催しております。コロナの時期は、どうしても外界との交流を遮断して、ウイルスを持ち込まないことに必死になっておりましたが、やはり、外部との交流を通じて自分たちのあり方を見直すという機会はとても大切だと思いました。来年も、いろんな外部の機関と交流を持ち、自分たちをアップデートしていけたらいいなと思っています。

そうそう交流と言えば、忘れてはいけないものがありました。今年も春のインターンシップを開催します。当院に興味がある方、ぜひぜひ参加して、先輩たちとの交流から精神科看護の魅力を感じてもらえたらと思います。

### 春のインターンシップの日程が決まりました！

開催日は、①1月29日(木)、②2月12日(水)、③2月27日(木)、④3月5日(水)、⑤3月18日(火)の5日間です。詳しくは、HPに掲載のポスターをご覧ください。ご都合がつかない場合は、個別の見学会にも対応しております。ぜひ、たくさんの方にご参加いただければと思います。ご希望の方は、どうぞ看護部長の [林 眞悟\(m-hayashi@8seikai.jp\)](mailto:m-hayashi@8seikai.jp) または [052-791-2133](tel:052-791-2133) までご連絡ください。

### 虐待防止の取り組み

今年、もうひとつ大切なことがありました。最近の精神科病院や福祉施設などの虐待問題を受けて、障害者の虐待防止の取り組みが精神科病院に義務づけられました。当院では、以前から虐待防止研修や倫理研修は主になっておりましたが、今年はチェックリストで自分たちのあり方を振り返ったり、外部の先生をお招きしたりして、取り組みを強化しました。管理者の間で、「黴の生えた病院で〜ルポ 神出病院虐待事件」の本を回し読みしたりもしました。当院の理念は、「誠実で開かれた医療を行い、地域に貢献します」ですが、その心を忘れずに、よりよい行動につなげていきたいと思っています。

## 院内研修あれこれ

徐々に集合教育、じゃあどんなことをやっているのか聞きたいというあなたに、今年やった研修のあれこれをご紹介しますと思います。看護研究コースとか、ナースエイド研修とか他にもいろいろあるのですが、それは昨年もご紹介しているので、昨年とは違う内容とかまだご紹介していないところにフォーカスしていきたいと思います。

### 【ケースレポート】 A病棟 渋谷優芽

入職から約2年が立ちました。今年はケースレポートに取り組み自分の看護について振り返りました。看護介入をしていく過程では、自分の思いや考えが中心になっていることに気づきました。「患者さんが持つ強み」や「患者さん中心の看護」が大切であると振り返ることができました。また、ケースレポートを書くことで文章化する力も成長したと感じています。今後も、ケースレポートを通して感じ・学んだ経験を活かし、日々スキルアップしていきたいです。

### 【手洗いチェッカーを使用した手指消毒の研修】 11月・12月 F1病棟 安藤師長

感染管理の強化、より高度な感染対策を推進のため、東部医療センターから感染管理認定看護師をお招きして手指衛生に関する研修を実施しました。病院が連携し、感染対策の知識と技術をさらに向上させることを目的としています。今回の研修を通して、普段の手指消毒の方法や感染対策に対する意識を振り返る機会となりました。自分の手指消毒の手技を確認するために手洗いチェッカーを用いましたが、こんなに洗い残しがあるのかとみんなで盛り上がりました。感染対策の重要性を改めて学ぶことで、感染対策の意識を継続的に維持できるのではないかと感じたので、今後も定期的に研修を実施していきたいです。



### 【看護管理者 伝達講習】 11月 B3病棟 長屋主任

院外研修「看護管理者研修会」に参加し得た内容をもとに、看護管理者伝達講習会を行ないました。以前から問題視されている少子高齢化が進む中で、医療や看護も今まで以上に地域での需要が高まり、「治す医療」から「治し支える医療」へと変化しています。そのような変化する医療・看護に柔軟に対応するための管理者としての必要な知識・技術を習得する事は必要不可欠ですが、中でも管理者として「サーバントリーダーシップ」を用いた人材育成が最も重要視されています。今後、看護部のスタッフ一人一人の成長が、組織としての成長に繋がるよう取り組んでいきたいです。

## リソースナースのご紹介 第3弾

皆さま、こんにちは！

私は認知症疾患医療センターで専従看護師として勤務しています。私事ですが、今年の4月に出産し、半年間育休を頂いておりました。その間様々な部署に仕事を引き継いでもらっていたので、これからは精一杯仕事をさせていただこうと思っています。

認知症疾患医療センターでは、主に外部からの認知症に関する相談への対応を行っています。来院されての相談もちろんありますが、電話での相談が多くなっています。ご本人やご家族の困りごとを少しでも軽減するためにどうしたらよいかを考えながら会話をする難しさはありますが、そこがやりがいのある部分でもあります。地域で過ごす認知症の方の力になれるよう、これからも努力していきたいです。

鷲見 舞（認知症看護認定看護師）